

## 取扱説明書

### ライン水栓 / ライン水栓 (浴槽側)

品番：PK6GWT (他) / PK8GM2 (他)

■ご使用前にこの説明書と、バスルーム、給湯機、ハンドシャワーの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

■この取扱説明書は当社製品に関するものです。他社製品との組み合わせで採用された場合は、他社製品に付属の取扱説明書をご覧ください。  
■転居される場合は、製品を安全にお使いいただくために、新しく入居される方、または取り次ぎされる方にこの取扱説明書をお渡しください。

## 安全上のご注意

必ずお守りください。

◎人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。



**警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



**注意**

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

### 警告

- |  |  |  |
|--|--|--|
| <p>● 分解・修理・改造は絶対に行わない<br/>感電や故障、水漏れの原因となります。</p> <p>● 幼児や身体の不自由な方だけで使用させない<br/>けが・やけどをするおそれがあります。</p> <p>● 混合水栓のお湯側は、熱くなるので触らない<br/>やけどをするおそれがあります。<br/>ストレーナの清掃・調節後は、必ず止水栓カバーを元どおりに取り付けてください。</p>   | <p>● 水栓の上に衝撃を与えない<br/>水栓カバーが割れてけがをするおそれがあります。</p> <p>● ハンドルを最後まで回した後、さらに力を加えて回さない<br/>ハンドルが破損して、けが・やけどをするおそれがあります。</p> <p>● 給湯温度は 80℃より高温で使用しない<br/>水栓の寿命が短くなり、破損してやけどや水漏れするおそれがあります。</p>  | <p>● 配管などの解氷のため、解氷機をご使用の場合、水栓には通電しない<br/>感電や故障のおそれがあります。</p> <p>● 【寒冷地仕様の場合】水抜き栓は、水抜き以外の目的で開けない<br/>高温のお湯が出てやけどや、湯水が噴出して、家財などをぬらすおそれがあります。</p>                           |
| <p>● 湯水を使うときは低温から少しずつ吐水し、適温を確かめてから使用する<br/>高温のお湯が出てやけどをするおそれがあります。また、吐水とシャワー切替時に温度が高くなる場合があります。</p> <p>● 高温の湯を使用後は、しばらく水を流してから止水する<br/>次に使用するとき、混合水栓内に残ったお湯が出てやけどをするおそれがあります。</p> <p>● 高温の湯を使用後は、必ず温度調節ハンドルの目盛りを 40 以下に戻す<br/>40 以下に戻さないと、次に使うとき、やけどをするおそれがあります。</p> | <p>● 温度調節ハンドルはゆっくり回す<br/>温度が急上昇して、やけどをするおそれがあります。</p> <p>● 吐水切替・流量ハンドルの操作を確認してから使用する<br/>やけどをするおそれがあります。</p> <p>● 湯側の止水栓の調節は、湯温を下げて行う<br/>配管が冷めていないため熱い湯が出てやけどの原因となります。</p> <p>● 水抜きをする際、混合水栓を高温で使った後は、しばらく水を流してから行う<br/>しばらく水を流さないと、混合水栓内に残ったお湯が出てやけどをするおそれがあります。</p> | <p>● 水抜き作業後は水抜き栓をしっかりと締める<br/>配管から熱い湯が出てやけどをするおそれがあります。</p> <p>● ストレーナの清掃は止水栓または元栓で必ず湯水を止めてから行う<br/>また、湯側止水栓が熱くないことを確認する<br/>高温のお湯が出てやけどや、湯水が噴き出して、浴室外に水漏れする原因となります。</p> |

### 注意

- |   |   |
|---|---|
| <p>● 器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えない<br/>器具が破損し、けがをしたり、浴室外に水漏れする原因となります。</p> <p>● 水栓天板に物を置かない<br/>落下してけがをするおそれがあります。</p> <p>● めっき部分は、ぶつけたり落としたりしない<br/>また、鋭利な物や硬い物を当てない<br/>めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。</p> <p>● めっきの表面が割れた場合は使用しない<br/>けがをするおそれがあります。</p> | <p>● 【凍結が予想される場合】<br/>一般地仕様：少量の水を出しておくか、配管に布を巻く<br/>寒冷地仕様：混合水栓や配管の水抜きを行う<br/>凍結破損し水漏れの原因となります。</p> <p>● 吐水切替・流量ハンドルはゆっくり回す<br/>急に閉めると配管に衝撃が加わり、「ドン」と音が鳴ったり（ウォーターハンマー）、水漏れする原因となります。</p> |
|---|---|

### 給湯機の使用上のお願い

- 給湯機の給湯温度は、50℃～60℃に設定することをおすすめします。必要とする温度（適温約40℃）が得られなかったり、流量が少なくなったりします。
- 吐水切替・流量ハンドルは、できるだけ全開で使用してください。給湯機が着火しない場合があります。（瞬間型の場合）
- 吐水切替・流量ハンドル全開時、吐水量が多すぎる場合は、あらかじめ止水栓で流量調節してください。それでも直らない場合は、吐水切替・流量ハンドルで調節してください。

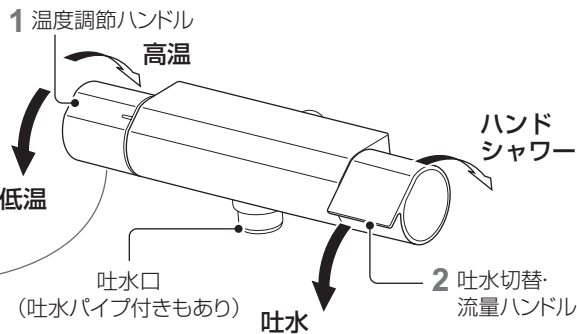
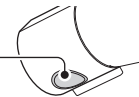
# 使いかた

## 水栓本体

### 高温のお湯を出したいとき

温度調節ハンドルは、42℃付近でロックされます。より高温のお湯を出すときは、ストッパー解除ボタンを押しながら温度調節ハンドルを「高温」の方向に回してください。

ストッパー解除ボタン



### 故障ではありません

- ※水栓のトップカバーとハンドルに段差ができる場合がありますが、異常ではありません。
- ※水栓と壁の間にすき間が出る場合がありますが、異常ではありません。
- ※温度調節ハンドルを回転させると音が鳴りますが故障ではありません。
- ※吐水切替・流量ハンドルの止水位置は、止水位置が感触でわかるようにクリック感がありますが故障ではありません。
- ※ライン水栓（浴槽側）の場合、流量ハンドルは、ハンドシャワー側へ回りませんが、故障ではありません。

※ハンドシャワーの使いかたはシャワーセットに付属の取扱説明書をご参照ください。

## 温度調節のしかた

サーモスタット式湯水混合水栓は、使用条件によって温度調節ハンドルで設定した湯温にならないことがあります。例えば「40℃に設定しているのに、お湯がぬるすぎる」ときは、次の手順で調節してください。（特に、冬場は水温が下がり、湯温が上がりにくい場合があります。）また温度調節は定期的に行ってください。

使用する道具



薄手の布



精密ドライバー



温度計



プラスドライバー  
マイナスドライバー

動画で見る



[https://sumai.panasonic.jp/support/movie/bath/02.html?id=A\\_movie](https://sumai.panasonic.jp/support/movie/bath/02.html?id=A_movie)

### お願い

作業の前に次のことを行ってください。

- ・水栓の止水栓を全開にする。
- ・ストレーナのごみ詰まりを取り除く。
- ・50～60℃のお湯が出ることを確認する。

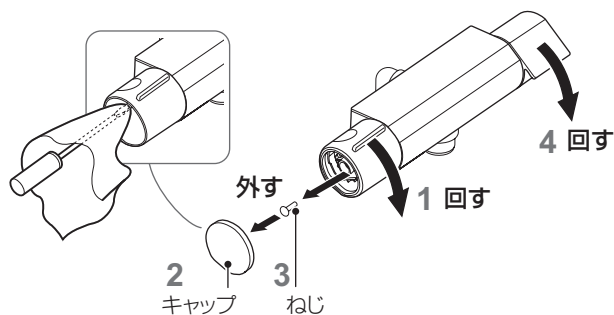
### 1 温度調節ハンドルを低温側いっぱい回す

### 2 キャップを外す

キャップに傷がつかないように、精密ドライバーに薄手の布を巻き、切り欠きに差し込んで外してください。

### 3 ねじを外す

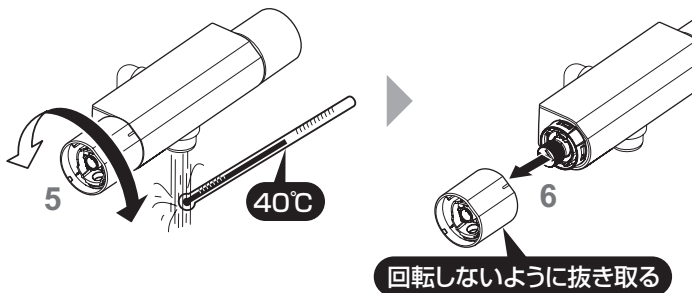
### 4 吐水切替・流量ハンドルを吐水側に最大まで回す



### 5 40℃のお湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回す

目盛りには関係なく40℃のお湯が出る位置まで回してください。

### 6 お湯を止め、温度調節ハンドルを抜き取る

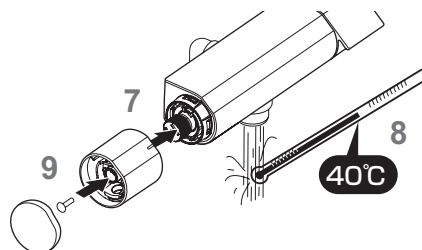


### 7 温度調節ハンドルを取り付ける

ハンドルの凸表示を40表示に合わせてください。

### 8 お湯を出し湯温が40℃であることを確認する

### 9 ねじを取り付け、キャップをはめる



■温度調節は修理ご相談窓口でも承ります。（保証期間に関わらず有償対応となります）



0120-872-150

【受付時間】月～土 / 9:00～19:00  
日・祝日・年末年始 / 9:00～18:00

※携帯電話からもご利用いただけます。

※インターネットでの依頼も可能です。

<https://sumai.panasonic.jp/support/repair/>



# お手入れ

次のものを使用しないでください。

酸性表示の洗剤、シンナー、ベンジン、灯油、アルコール、オレンジオイル系洗剤、研磨剤入りの洗剤やスポンジ（素材を傷めるおそれがあります）、アルカリ性表示の洗剤、風呂水清浄剤、漂白剤、クレンザー、みがき粉、薬品（殺虫剤など）、たわし、サンドペーパーなど、メラミンスポンジ

## 水栓本体、ハンドル、吐水口

月に1度

### 1 やわらかいスポンジに洗剤をつけてこする

浴室用洗剤（中性）でハンドルや吐水口の水あか（白い汚れ）などを落としてください。

### 2 シャワーで洗剤をよく洗い流す

※ハンドシャワーのお手入れ方法はシャワーセットに付属の取扱説明書をご参照ください。

### 水あか（白い汚れ）が落ちにくいとき

歯ブラシに練り歯磨きをつけ、こすってください。

### お願い

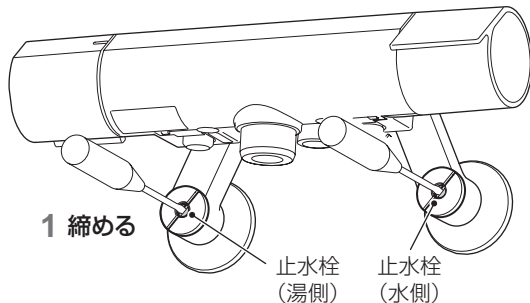
・日常的に混合水栓のハンドルを回しておいてください。（ハンドルを回さないと、水あかなどが付着し故障の原因となります。）

## ストレーナ(止水栓)

月に1度

### 1 止水栓を締める（2か所）

しっかり締めて湯水が出ないことを確認してください。

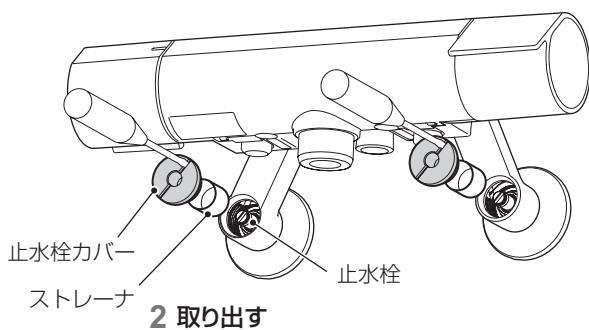


### 警告

● 混合水栓のお湯側は、熱くなるので触らないやけどをするおそれがあります。

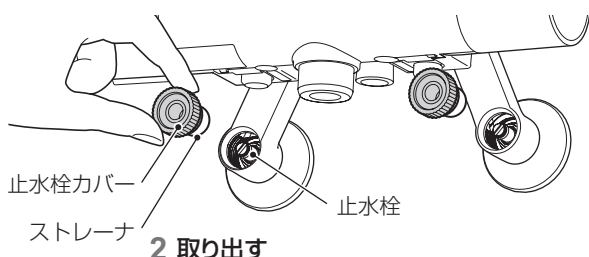
### 2 一般地仕様の場合

止水栓カバーを回して開け、ストレーナを取り出す（2か所）



### 寒冷地仕様の場合

止水栓カバーを手で回して開け、ストレーナを取り出す（2か所）



### 3 ストレーナの汚れを落とす

### 4 清掃後、逆の手順で取り付ける

## 吐水口

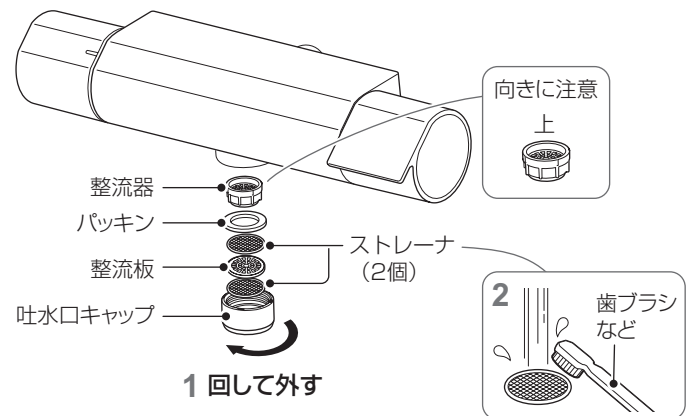
月に1度

### 吐水パイプなしの場合

### 1 吐水口キャップを手で回して取り外す

### 2 ストレーナの汚れを落とす

### 3 清掃後、逆の手順で取り付ける

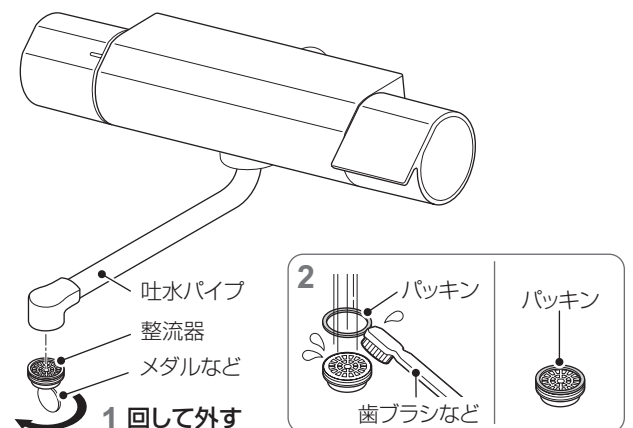


### 吐水パイプありの場合

### 1 吐水口先端の整流器をメダルなどで回して取り外す

### 2 整流器の汚れを落とす

### 3 清掃後、逆の手順で取り付ける



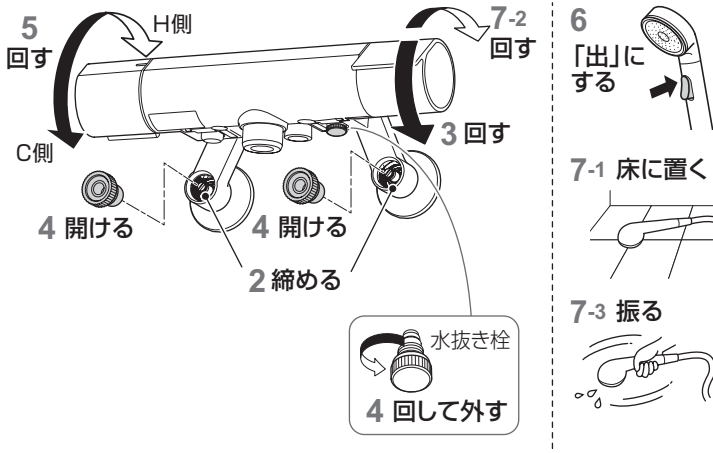
# 凍結予防のしかた

- ・水栓が凍結すると部品が破損し水漏れの原因となります。(凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。)
- ・凍結が予想される場合は浴室内が氷点下にならないようにしてください。(氷点下になるおそれがある場合は以下の凍結予防の処置をしてください。)

## 寒冷地仕様の場合

### 水抜きを行う

水栓本体の水抜き	水栓本体と配管の水抜き	手順
	1	ご家庭の配管の水抜き栓を操作する。
2		湯・水の止水栓を締める。
3	3	吐水切替・流量ハンドルを吐水側へ回す。
4	4	水抜き栓とストレーナを開ける。
5	5	温度調節ハンドルを「H」に回して水を抜き、「C」に回して水を抜く。
6	6	【手元止水付きシャワーの場合】ボタンを「出」の状態にする。
7	7	1) シャワーヘッドを床に置く。 2) 吐水切替・流量ハンドルをシャワー側へ回す。 3) シャワーヘッドを振って中の水を抜く。



## 一般地仕様の場合

凍結が予想される場所で使用する場合は、次の処置によって凍結を予防できることがあります。

- 1 少量の水を出す
- 2 配管部などに布を巻く

## 通水を再開する

上記と逆の手順で操作して通水を再開してください。必ず水抜き栓とストレーナが締まっていることを確認してください。

【水が出ない場合】  
吐水切替・流量ハンドルを吐水側へ回し、しばらくお待ちください。水栓内に残った水滴が凍っている場合があります。

# 故障かな？

こんなときは	このように処理してください	こんな理由です
流量を絞るときに音が出る。	異常ではありません。	水が流れる音です。
お湯が出ない。吐水量が少ない。	ストレーナを清掃する。	混合水栓または止水栓のストレーナにごみが詰まっている。
出始めのお湯が冷たい。湯温が一定にならない。	異常ではありません。しばらくお湯を出して待ってください。	配管に残っている冷めたお湯が出るためです。
熱いお湯が出ない。	他の混合水栓の吐水量を少なくする。	台所や洗面所など他の混合水栓と同時に使用している。(給湯機の能力によっては、同時に使用すると湯温の下がる場合があります。)
	混合水栓の吐水量を少なくする。	冬期で水道水の水温が低い。(給湯機の能力によっては、湯温の上りにくい場合があります。)
	浴室リモコンの設定を優先にする。	台所リモコンの設定が優先になっている。
	必要とするお湯の温度より10℃以上高い温度に設定する。(60℃給湯をおすすめします。)	給湯機の設定温度が低い。
低温(30℃程度)のお湯を出すとき、湯温が一定しない。	給湯機の設定温度を下げる。(例：60℃→40℃)	温度調節ハンドルの設定がずれている。
低温(30℃程度)のお湯を出すとき、吐水量が少ない。 ※電気温水器の場合を除く。	必要とするお湯の温度より10℃以上高い温度に設定する。(60℃給湯をおすすめします。) 吐水量を増やすには、給湯機のお湯に水道管の水が吐水されるよう、給湯機の湯温を高めに設定してください。	次の条件が重なっている。 ・夏などで水道管の水温が高い。 ・給湯機の設定温度が高い。
		給湯機と混合水栓の設定温度に近い。

# こんなときはどうする？

## 当社標準以外のシャワーヘッドを取り付ける場合

- ・シャワーホース先端のねじ径はG1/2およびM22x2 (エステケア、新W節水、ホワイトワンタッチのみ) サイズです。該当のサイズであれば取り付け可能です。接続部のOリングのサイズが合わない場合、シャワーヘッドとホースの接続部から水漏れする可能性があります。交換するシャワーヘッドのメーカーへお問い合わせください。
- ・交換するシャワーヘッドに一時止水機構がある場合、シャワーホースの根本に調圧弁の取り付けが必要です。(別途手配)  
交換前に水栓に調圧弁が接続されているかご確認ください。

## 吐水口に他社品の吐水パイプを取り付ける場合

- ・吐水口のねじ径はW26山20です。他社品の吐水パイプ取り付けによる水栓の破損や水漏れは保証対象外となります。

# パナソニックハウジングソリューションズ株式会社 水廻りシステム事業部

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Housing Solutions Co., Ltd. 2025

GVN1612  
2025年5月発行 Si0225-1055